

令和 3 年 度  
ク リ ー ニ ン グ 師 試 験 ( 筆 記 ) 問 題

衛 生 法 規 に 関 す る 知 識  
公 衆 衛 生 に 関 す る 知 識  
洗 濯 物 の 処 理 に 関 す る 知 識

9 : 0 0 ~ 1 0 : 0 0  
( 6 0 分 )

指示があるまで開いてはいけません。

(注 意 事 項)

- 1 解答用紙の右上の記入欄に受験番号を記入してください。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答の誤りを訂正する場合は、消しゴムで消して訂正してください。
- 4 解答は、1つの解答欄に1つだけ記入してください。2つ以上書くとその解答は無効になります。
- 5 試験開始後 30 分を経過するまでは、退室できません。
- 6 退室するときは、解答用紙を裏返して机の上に置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙のみを回収します。問題用紙は持ち帰っても構いません。

# I 衛生法規に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所において、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものとして厚生労働省令で指定される洗濯物を洗濯するときは、洗濯の前に必ずしも消毒が必要ではない。
- (2) 洗濯物の受取り及び引渡しのみを行うクリーニング所には、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- (3) クリーニング業法の目的は、クリーニング業に対して、公衆衛生等の見地から必要な指導及び取締まりを行い、クリーニング業の経営を公共の福祉に適合させ、利用者の利益を守ることである。
- (4) クリーニング業を営む者は、洗濯物の受取り及び引渡しをするに際しては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び電話番号、並びにクリーニング師の氏名を店頭に掲示し、掲示事項を記載した書面を利用者に配布する必要がある。
- (5) 伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるものとして厚生労働省令で指定される洗濯物には、手ぬぐい又はタオルその他これに類するものは含まれない。

問2 厚生労働省が定める「クリーニング所における衛生管理要領」に関する次の文章について、( ) にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ ランドリー処理の本洗いには、( 1 ) °C以上の温水を使用することが望ましいとされている。
- ・ クリーニング業を営む者は、従業者が( 2 )又は( 3 )等の感染性皮膚疾患にかかったときは、この旨を保健所に届け出るとともに、当該作業者を従事させないこととしている。
- ・ 指定洗濯物の一般的な消毒方法として、( 4 )ガス及び( 5 )等が示されている。

ア 60	イ アセチレン	ウ 乾癬	エ 結核
オ 酸化エチレン	カ 新型コロナウイルス感染症	キ エタノール	ク 頭部白癬
ケ 40	コ 粉瘤	サ 50	シ 蒸気

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング師が免許証を失い、都道府県知事に免許の再交付を申請した後に、失った免許証を発見したときは、10日以内に免許を与えた都道府県知事に提出しなければならない。
- (2) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、クリーニング所の業務に従事した後、3年を超えない期間ごとに都道府県知事が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受講しなければならないとされている。
- (3) クリーニング業営業者の地位の相続があったときは、相続人は遅滞なくその旨を都道府県知事に届け出なければならない。
- (4) クリーニング業を営む者は、洗濯物の洗濯をするクリーニング所に、業務用の機械として、洗濯機、脱水機及び乾燥機をそれぞれ少なくとも1台以上備えなければならないとされている。
- (5) クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取り及び引渡しをする営業を行おうとする者は、業務用車両の保管場所については届け出なければならないが、営業区域については、届け出なくてよい。

問4 次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング師がクリーニング業に関する犯罪を犯して（ 1 ）以上の刑に処せられたときは、その免許を取り消されることがあり、免許の取消処分を受けた者は、（ 2 ）日以内に免許証を返納しなければならない。
- ・ 洗濯物の処理を行うクリーニング所の開設にあたって届け出た（ 3 ）等の事項に変更が生じたとき、又はクリーニング所の営業を（ 4 ）したときは、すみやかに都道府県知事に届け出なければならない。
- ・ 洗濯物の洗濯をするクリーニング所の洗場の床は、（ 5 ）等の不浸透性材料でなければならない。

ア	クリーニング師の年齢	イ	禁錮	ウ	懲役	エ	5	オ	廃止
カ	コンクリート	キ	30	ク	クリーニング師の本籍	ケ	罰金	コ	休止
サ	土	シ	10	ス	クリーニング師の個人番号	セ	砂利		

## Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問1 次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ ウィンスローの定義において、「公衆衛生」は「共同社会の組織的な努力を通じて、（ 1 ）を予防し、寿命を延長し、肉体的、（ 2 ）健康の能率の増進をはかる（ 3 ）であり、技術である。」とされている。
- ・ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第4条（国民の責務）では、「国民は、感染症に関する正しい知識を持ち、その（ 4 ）に必要な注意を払うよう努めるとともに、感染症の患者等の（ 5 ）が損なわれることがないようにしなければならない。」とされている。

ア 文化的	イ 精神的	ウ 経済的	エ 予防	オ 流行
カ 法律	キ 科学	ク 生命	ケ 人権	コ 疾病
サ 貧困	シ 健康			

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニングに使用する石油系溶剤はVOC（揮発性有機化合物）に該当するが、テトラクロロエチレンはVOCに該当しない。
- (2) P R T R制度（化学物質排出移動量届出制度）とは、有害性のある多種多様な化学物質が、発生源から、どの程度環境中に排出されたのかを把握し、集計、公表する仕組みのことである。
- (3) 風力や火力は、再生可能エネルギー源である。
- (4) クリーニング所で使用されたテトラクロロエチレンや石油系溶剤を含む廃油等を処理するには、これらが特別管理産業廃棄物に分類されることから、特別管理産業廃棄物管理責任者を選任しなければならない。
- (5) オゾン層は、太陽光に含まれている有害な紫外線を吸収し、地上の生態系を保護している。

問3 次の文章の（ ）にあてはまる最も適切な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ 感染性の（ 1 ）疾患である「疥癬」の原因となる病原体は、（ 2 ）という寄生虫である。
- ・ 厚生労働省が定める「クリーニング所における衛生管理要領」に示されている指定洗濯物の一般的な消毒方法では、熱湯による消毒の場合は（ 3 ）℃以上の熱湯に10分間以上浸すこと、塩素剤による消毒の場合は遊離塩素（ 4 ）ppm以上の水溶液中に（ 5 ）℃以上で5分間以上浸すこととされている。

ア	内分泌	イ	呼吸器	ウ	皮膚	エ	ヒゼンダニ
オ	コロモジラミ	カ	ツツガムシ	キ	1000	ク	500
ケ	250	コ	80	サ	30	シ	4

問4 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 感染拡大の原因が主に経口感染である感染症に対する予防策として、「手洗い」は効果的ではない。
- (2) 労働安全衛生法に基づく「有機溶剤中毒予防規則」では、テトラクロロエチレンのみを対象に、危険有害性の確認及び周知、作業主任者の専任、特殊健康診断等が定められている。
- (3) 多くの微生物は湿潤環境を好むため、洗濯物は乾燥状態で保管すべきである。
- (4) ヒメマルカツオブシムシの成虫は、春から初夏にかけて屋内へ飛来侵入し、衣類を食害する。
- (5) 滅菌とは、すべての微生物を死滅させてしまうことをいう。

### III 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 柔軟剤はノニオン界面活性剤が成分であり、繊維間を平滑にし衣服を柔らかくふっくらした感触に仕上げる。
- (2) シミ抜きは、まず水溶性のシミを処理し、次に油性、不溶性の順に処理を行う。
- (3) 次亜塩素酸ナトリウムの漂白剤は、綿、麻などのセルロース系繊維に適し、絹、毛、染色物には使用できない。
- (4) 人工皮革は、基材に特殊不織布を用いたもので、素材表面も裏面も皮革に似た外観を持っている。
- (5) ドライクリーニング溶剤として使用される石油系溶剤は、不燃性であり、短時間で洗浄、乾燥ができる。

問2 次の記述について、あてはまる最も適切な繊維名を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 動物繊維の一つであり、弾性に優れ、シワになりにくい。繊維表面にスケールがあり、湿潤状態でもまかれると繊維が絡み合っ<sup>て</sup>収縮し硬くなる。
- (2) 合成繊維の一つであり、ゴムのように6倍以上もよく伸び、大きな伸縮回復力のある弾性繊維である。熱や紫外線に弱く、洗濯には塩素系漂白剤の使用を避ける等、取扱いに注意が必要である。
- (3) 木材パルプから絹の外観に似せて人工的につくった再生繊維である。染色性がよく、肌触りもよいが、強度が綿や絹より弱いうえに、湿潤状態では乾燥時の半分程度まで低下する。
- (4) 天然繊維では唯一の長繊維である。発色が鮮やかで、しなやかさと吸湿性に優れているが、着用中の汗や摩擦によって毛羽立ちや変退色が発生しやすい。
- (5) 植物繊維の一つである。形状は細く扁平なリボン状で、自然のよじれがあり、繊維断面は中空である。天然繊維の中で最も多く消費される繊維で、丈夫で吸湿・吸水性、耐熱性がよい。



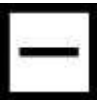

ア	ポリウレタン	イ	羊毛	ウ	レーヨン	エ	ポリエステル
オ	絹	カ	綿	キ	アクリル	ク	麻
ケ	キュプラ	コ	アセテート				

問3 次の記述について、( )の中から適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) あらかじめドライ溶剤にドライソープを添加しておいて洗う方法を、(ア：ダブル洗浄システム、イ：チャージシステム) という。
- (2) 新合繊のシミ抜きに際しては、(ア：油性、イ：水溶性) のシミ抜き剤や漂白剤で脱色しやすいので、安全性を確認して使用する。
- (3) 洗剤は、界面張力を(ア：下げる、イ：上げる) 働きを持っており、その主成分は界面活性剤である。
- (4) (ア：生成り、イ：さらし) の製品は漂白も蛍光増白処理もされていないので、漂白剤や蛍光増白剤で白色化するため注意が必要である。
- (5) 石油系溶剤は、油脂溶解力が小さく、比重が(ア：重い、イ：軽い) ので、ソフト洗いに適している。

問4 次の記述が説明しているものを下の語群または表示記号から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 絹、レーヨン、アセテートなどのフィラメント織物に、<sup>もくめ</sup>木目や波形、あるいは雲状の模様を付ける加工
- (2) ランドリーにおいて、アルカリ助剤として洗剤と併用される物質
- (3) ドライクリーニングでは除去されにくい汚れの種類
- (4) 取扱い表示 (JIS L 0001 : 2014) の中で、「石油系溶剤 (蒸留温度 150℃～210℃、引火点 38℃～) でのドライクリーニング処理ができる。通常の処理」を表す記号
- (5) 取扱い表示 (JIS L 0001 : 2014) の中で、「平干し乾燥がよい」ことを表す記号

ア エンボス加工	イ メタ珪酸ナトリウム	ウ モアレ加工
エ 硫酸ナトリウム	オ 油性汚れ	カ 水溶性汚れ
キ 	ク 	ケ 
	コ 	サ 